

全国段階の協議会(国産ジビエ流通規格検討協議会) の主な取組内容

| 事項 | 取組内容 |
|---------------------------------|---|
| 1. 利活用推進に必要な取組(調査・検証) | |
| 捕獲段階 | ①利活用を前提とした捕獲・放血方法の普及 (捕獲時の損傷度合と廃棄割合の関係の検証等) |
| | ②捕獲体制強化による食肉利活用の推進 (利用率の高い処理加工施設の運営や捕獲体制の調査等) |
| | ③移動式解体処理車導入による利活用割合の向上 (既存施設との搬入・処理方法、衛生・処理方法の比較等) |
| 処理加工段階 | ①処理施設の連携と需給調整機能 (各食肉処理加工施設の供給量と需給量の調査等) |
| | ②衛生管理ガイドラインの準拠率向上 (衛生管理ガイドラインの準拠率を自ら測定できるチェック表の作成等) |
| 供給段階 | ①川上の取組 -ジビエ規格の検討- (美味しいジビエの基準化を検討するための基礎データ収集等) |
| | ②川下の取組 -安全な供給と正しい調理法の普及- (飲食店向けの正しい調理法普及のためのセミナー開催等) |
| | ③ジビエ製品情報の見える化 (ジビエ製品情報の統一的な見える化の方向性の検討等) |
| 消費段階 | ①ジビエの認知度やニーズの把握 (消費者及び飲食店の市場動向の調査等) |
| | ②新たなジビエ料理の開発 (ウェブサイトを活用したレシピ開発・普及等) |
| | ③ジビエの栄養成分、機能性成分の分析・提示 (ジビエの栄養成分の分析等) |
| 2. 利活用推進に向けた普及啓発 | |
| | ジビエフェアの開催、ジビエレシピ集の作成 |
| 3. その他事業の目的を達成するために必要な取組 | |
| | ペットフード、皮革の利活用に関する実態調査等 |

全国段階の協議会(国産ジビエ流通規格検討協議会)の構成団体

| 構成団体 | |
|-----------------|---|
| 県 (7) | 和歌山県、鳥取県、山口県、愛媛県、福岡県、宮崎県、鹿児島県 |
| 市町村 (7) | 阿久根市、伊豆市、諫早市、君津市、古座川町、下関市、美作市 |
| 食肉処理加工施設 (7) | イズシカ問屋、信州富士見高原ファーム、奥三河高原ジビエの森、一般社団法人和歌山鳥獣保護管理捕獲協会、古座川町鳥獣食肉処理加工施設、地美恵の郷みまさか、一般社団法人阿久根市有害鳥獣捕獲協会 |
| 民間企業等 (4) | (株)ぐるなび、(株)小島商店、全国農業協同組合連合会((株)ピュアディッシュ)、特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会 |
| 大学 (2) | 日本大学生物資源科学部獣医学科獣医公衆衛生学研究室、日本獣医生命科学大学応用生命科学部動物科学科・動物栄養学教室 |